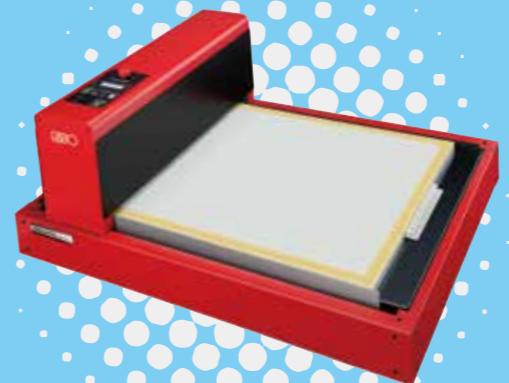


組み合わせ
新提案

GOCCOPRO QS200 × ガーメントプリンター



もっと早くなる!!

Tシャツプリントが手軽に、スピーディーにおこなえるガーメントプリンター。しかし、前処理工程の面倒さと白インクのコストが悩みの種というユーザーは少なくない。そこで今、注目されているのが、スクリーン印刷とガーメントプリンターのコンビネーション。理想科学工業のデジタルスクリーン製版機「GOCCOPRO QS200」を活用すれば、ガーメントプリンターの白インクを使わずに、経済的でスピーディーに濃色Tシャツへのフルカラープリントが実現する。

プリントプロセスは 3 ステップ!



布製品に直接、プリントできる「ガーメントプリンター」。製版が要らず1枚からフルカラープリントが可能。注目は高い。ただし、濃色生地にはプリントする際の白インクや下処理剤に手を焼くユーザーは少なくない。割高でヘッドづまりしやすい白インクは印刷コストを押し上げ、下処理剤の塗布とその乾燥工程が生産性の足を引っ張る。そういった評判を耳にしてガーメントプリンターの導入に二の足を踏む読者も多いはずだ。

その解決策として、理想科学工業のデジタルスクリーン製版機「GOCCOPRO QS200」とガーメントプリンターとのコンビネーションを紹介しよう。

そもそも、ガーメントプリンターで濃色生地に印刷の際にネックとなるのがカラーインクを乗せるための白ベース。そこで、スクリーン印刷で白ベースをプリント、または抜染するアイデアだ。これならガーメントプリンターの白インクを使わないので、インク代を低く抑えられ、面倒な下処理工程が不要になる。ただし、これを従来の乳剤版によるスクリーン印刷でやるなら、大量ロットでなければ版代が合わないし、乳剤版を外注している納期がかかる。それでは、小ロットをスピーディーに刷るガーメントプリンター

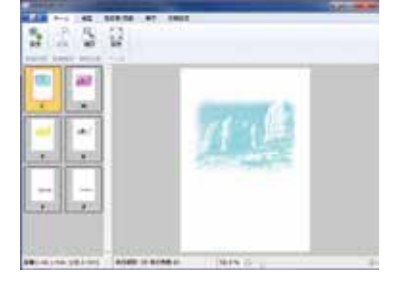
近日発売!!



ゴッコプロ スマート色分版

期間限定でプレゼント!

スクリーン印刷で多色刷りを行う際は、刷り色ごとに原稿データを用意する必要があるが、それをパソコン上で簡単におこなうアプリケーション「GOCCOPROスマート色分版」が、理想科学工業からまもなく発売される。



このソフトを使えば、各種のソフトで作成されたカラー原稿を読み込んで分版し、色版ごとの製版データを簡単に作成可能。面倒な版分けが不要となる。パソコン画面上で仕上がりがイメージを確認しながら、色変更や画像処理、網点設定などもおこなえる。グラフィックソフトの熟練者でなければできなかった作業が初心者でもできるため、多版刷りの受注を諦めていた方には朗報だろう。

ゴッコプロQS200を新規購入するとこの便利なアプリケーションをプレゼントするキャンペーンを実施予定。デジタルスクリーン製版機の購入を検討中の方には見逃せないチャンスだ。

お問い合わせは
理想科学工業株式会社
プリントクリエイト事業部

お客様相談室
☎ 0120-343-338
受付時間10:00~12:00 13:00~17:00
(土・日・祝日・夏期休業・年末年始を除く)
www.riso.co.jp/product/goccopro



白インク非搭載モデルだと、濃色生地が扱えない。素材によっては淡色でも前処理剤が必要になる。

スクリーン印刷なら前処理不要!

スクリーン印刷で白ベースを刷ってからガーメントプリンターにかければ前処理は不要。前処理剤塗工機を購入することなく、面倒な工程が省ける。



Tシャツプリントが



スキージの方が手早く、ヘッドクリーニングの無駄もない。

ガーメントプリンターのヘッドの動きよりもスキージの方が早く白ベースが刷れるはず。しかもヘッドクリーニングの時間も不要なので、作業がよりスピーディーになるだろう。



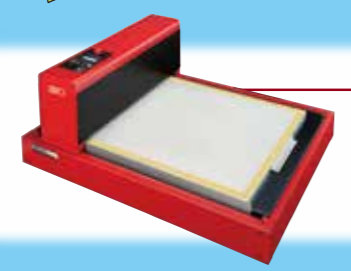
白インクは目詰まりを起こしやすく、ヘッドクリーニングの度に時間もインクも捨てている気がする……。



白インクは割高だけでなく、ヘッドクリーニングによるインクロス、目詰まり防止のサーキュレーション機能でも電気代を食っている。

QS200なら製版コストも安い。

ゴッコプロQS200のマスターは1版あたり約690円(※2)だから、小ロットの印刷でも製版コストが気にならない。しかも暗室や水洗設備などが不要なので低い設備投資で導入できる。



GOCCOPRO QS200 主な仕様

大きさ: 980(W)×720(D)×480(H) mm
質量: 約67kg (マスターは含まず)
最大製版領域: 420×620mm (A2ワイドサイズ相当)
最大枠サイズ: 580×780mm 最小枠サイズ: 260×260mm
対応枠厚: 20~50mm 解像度: 600dpi×600dpi
製版時間: 2分以内 (A4サイズ) 理想価格: 178万円(税別)

1の長所を活かせない。ゴッコプロQS200による製版なら、枠張りしたマスターをセットして、スタートボタンを押すだけ。A4サイズなら約2分で製版が完了し、水洗いや乾燥などの面倒な手間がかからない。スクリーン印刷の手早さに加え、下処理工程が要らなくなることで印刷時間も短縮される。11枚以上ならガーメントプリンター単体で刷るよりスクリーン印刷とのコンビネーションの方がスピーディーで有利になる(※1)。しかもゴッコプロQS200のマスターは1版あたり約690円(※2)と低コスト。すなわち、生産性アップとコストダウンを両立しながら小ロット、オンデマンド、というガーメントプリンターの強みをさらに引き出すことができる。ガーメントプリンターとスクリーン印刷は相反するものではなく、ゴッコプロのような新しいデジタルソリューションと組み合わせることで、より利益の出る、生産性の高いプリント手法に進化できるのだ。

ガーメントプリンターを使わずにスクリーン印刷で多色刷りをこなす場合も、カラーの原稿をCMYKに分版できるソフト「ゴッコプロスマート色分版」がまもなく登場するので、カラー化が進む消費者のニーズにより簡単に応えることができる。

※1 理想科学工業によるシミュレーション。卓上型のガーメントプリンターで濃色下シャツへプリントした場合との比較。
※2 RISOデジタルスクリーンマスター-QS 120P-113-50をアルミフレーム(480×600mm)で使用した場合。